

令和4年度 学校評価報告書

北海道興部高等学校

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎的・基本的な知識や技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育み、主体的・対話的で深い学びを実現する学習活動を通じて、社会で生きる力と生徒の個性の伸長に努める。
- (2) 自己形成を図り、地域貢献に努め、他を思いやる温かい心や豊かな人間性の育成に努める。
- (3) 主体的に未来を切り拓く目標を持ち、不屈の精神と健やかな身体をもってやり抜く力の育成に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| (1) 教育課程・学習指導    |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態を踏まえた教育課程を編成できた。</li> <li>・基礎・基本の確実な定着を図るため、個に応じた学習指導の充実に努めている。</li> <li>・生徒の学習意欲と主体的な取組を喚起する評価方法の改善に取り組んでいる。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めている。</li> <li>・地域と連携した教育活動を行っている。</li> </ul>                  |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の企業での働き方はリモートワークやウェブ会議などに变化しており、情報や知識も覚える方法から探せる方法に変化している。BYODの活用は将来につながる方法だと思われる。</li> </ul>                                                                                                                      |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい教育課程やシラバス、年間指導計画の検証を進め、本校の育成すべき資質能力との整合性を確認する。</li> <li>・BYOD導入による個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。</li> <li>・生徒による授業評価アンケートや公開授業を活用した授業改善を進める。</li> <li>・学習評価の工夫・改善を継続する。</li> <li>・公営塾と連携した学習活動を推進する。</li> </ul> |
| (2) 進路指導         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的・系統的なキャリア教育を進められた。</li> <li>・総合的な探究の時間を通して生徒の自己理解を進めることができた。</li> <li>・生徒の進路実現のための校内連携が機能している。</li> </ul>                                                                                                         |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の進路のため、職業や職種の理解を進める必要がある。</li> <li>・生徒が直接、地域の人や職場と触れ合う機会を増やせればと思う。</li> </ul>                                                                                                                                      |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な進路情報を生徒や保護者に提供する。</li> <li>・面談や進路に係る取組など、生徒が主体的に進路を考える機会により進路意識の向上を図る。</li> <li>・地域の教育力を生かした様々な活動を検証し、改善を図る。</li> </ul>                                                                                           |
| (3) 生徒指導・特別活動    |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立のための生徒指導を行っている。</li> <li>・生徒会活動・行事を通じて、自主性・主体性の育成を図っている。</li> <li>・いじめに対し組織的で迅速に対応する体制が整備され機能している。</li> <li>・特別な配慮が必要な生徒への対応が適切に行われている。</li> </ul>                                                         |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身での生徒会活動は必要だが、道案内はしてほしい。しかし、失敗も経験として必要だと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                            |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒面談や保健室等の情報を活用し、生徒理解に努める。</li> <li>・生徒が自主的・主体的に取り組むよう生徒会活動・行事を工夫する。</li> <li>・スクールカウンセラーの派遣時間の延長や外部講師による講演の実施など教育相談の充実を図る。</li> </ul>                                                                               |
| (4) 健康・安全指導      |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を含む健康・安全に関する指導を適切に行った。</li> <li>・傾聴と受容という共通理解のもと、教育相談体制の確立に努めている。</li> </ul>                                                                                                                           |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰な感染症対策は必要ない。通常の活動の中で対策を講じればよい。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な感染症対策を徹底する。</li> <li>・Ai-GROW やQ Uテスト結果を活用し、生徒情報共有を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                |
| (5) 組織運営         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に分掌会議が開かれ、分掌内・分掌間の調整が行われている。</li> <li>・教職員の連携協働意識は高い。</li> <li>・教職員は高い服務規律遵守意識を持っている。</li> </ul>                                                                                                                  |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルの活用は継続に成功のカギがあるそうです。継続すると必ず前に進むそうです。</li> </ul>                                                                                                                                                              |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営においてPDCAサイクルを活用し、成果と課題を明らかにする。</li> <li>・学校評価や評価会議の結果を、次年度の分掌・学年等の教育計画に反映させる。</li> <li>・分掌や学年内で進行管理を確認する体制を作り、情報を共有し、作業の効率化を図る。</li> <li>・緊急時の体制について、絶えず見直しを図る。</li> </ul>                                       |
| (6) 保護者・地域住民との連携 |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| ア 自己評価           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域住民に対し、教育活動の情報を積極的に提供している。</li> <li>・学校運営協議会と連携し、地域と協働した学校づくりを図っている。</li> <li>・中学校との連携を進める必要がある。</li> </ul>                                                                                                     |
| イ 学校関係者評価        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ウェブページでの情報提供をより一層進めるとよい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                |
| ウ 改善方策           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域住民の声を聞く機会の設定を検討する。</li> <li>・ホームページを活用した情報発信の在り方を工夫する。</li> <li>・学校運営協議会と教職員の連携を強化し、共通理解を図る。</li> <li>・公開授業や出前授業など教科単位での中学校との連携を目指す。</li> </ul>                                                                |